



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 nms ホールディングス株式会社

コード番号 2162 URL <http://www.n-ms.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 文明

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 コーポレート本部長 (氏名) 河野 寿子 TEL 03 (5333) 1711

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無（説明動画を配信）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	26,049	△16.3	139	△49.6	△68	—	△499	—
2020年3月期第2四半期	31,108	12.2	276	15.1	203	△7.7	34	△45.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 △785百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 △80百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	△29.98	—
2020年3月期第2四半期	1.99	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	31,256	4,842	15.5
2020年3月期	33,470	5,849	17.4

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,833百万円 2020年3月期 5,837百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期 (予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,500	△9.8	600	△34.8	350	△35.4	△300	—	△18.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.11「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期 2Q	21,611,000株	2020年3月期	21,611,000株
2021年3月期 2Q	4,949,759株	2020年3月期	4,449,759株
2021年3月期 2Q	16,680,454株	2020年3月期 2Q	17,161,274株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料については、T D n e t で同日開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載しております。

(決算説明会について)

新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、機関投資家・アナリスト向け決算説明会の開催を見送り、説明動画の配信および自社ホームページへの掲載を行います。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	11
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) .....	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	11
(セグメント情報等) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の拡大により、各国・地域において経済活動が大幅に抑制されたことにより、リーマンショックを超える落ち込みとなり、厳しい状況で推移しました。国内においては徐々に経済活動の再開が図られ、政府による諸施策が講じられているものの、欧米での感染症拡大が深刻化の様相を見せるなど、依然として世界景気回復の兆しが見えない状況が続いています。

わが国経済においては、段階的に経済活動の再開が図られているものの、世界景気の低迷に加え、様々な業種において稼働停止や生産調整が行われた影響や低調な消費動向が続いており、大幅に冷え込んだ景気が回復基調となるまでには未だ時間がかかる見通しです。

当社グループの関連業界では、次世代端末向け半導体・電子部品関連は堅調だったものの、自動車関連は世界各国における稼働停止により大幅減産となり、これに伴い、車載関連や工作機械関連などの需要も落ち込みました。

また、当社グループが進出する中国、ASEAN、北中米等の国・地域では、ロックダウン（都市封鎖）や外出禁止令、出入国制限等の施策が行われたことにより、生産活動のみならず、部材調達や物流などサプライチェーンにもその影響が及びました。

このような状況のもと、当社グループにおいては、従業員及びお客様の安全確保を最優先し、間接部門や営業部門についてはテレワークやリモートによる活動を推進、海外においても各国政府の要請に従い対応を図りながら、販管費の抑制に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は26,049百万円（前年同期比16.3%減）となり、営業利益139百万円（前年同期比49.6%減）、経常損失68百万円（前年同期は203百万円の利益）を計上、加えて、感染症関連による休業手当等による特別損失367百万円を計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は499百万円（前年同期は34百万円の利益）となりました。

なお、経営環境改善時に備えた基盤強化策として、グループにおける事業構造改革を実行します。引き続き、合理化、効率化を徹底的に進め、事業効率のよい体制への転換や抜本的コスト構造改革を行います。今後も経済環境はさらに不透明感を増していく様相ですが、グループ間の事業シナジー創出に加え、事業構造改革により体質を強化し、次年度につながる取り組みを展開してまいります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① HS事業（ヒューマンソリューション事業）

国内事業については、製造請負事業において自動車関連が世界的減産の影響を受けた稼働調整が行われた一方で、半導体・電子部品関連等、繁忙な業種においては、人材供給ニーズが継続、今後の拡大に向け注力している物流3PL（\*）受託・テクニカル流通加工事業会社（nms ロジスティクス& テクニカルソリューション株式会社）も堅調に推移しました。技術者派遣専門会社（nms エンジニアリング株式会社）では顧客企業による稼働調整の影響を受け売上が抑制されたものの、2020年1月に実施した、技術者派遣事業統合による効果もあり、利益率が改善しました。また、グループ各社において徹底した経費見直しを行い、国内事業全体における固定費の圧縮に努めました。海外事業については中国及びASEANにおける顧客の稼働調整に加え、外国人材関連で国境を越える人の移動に対する制限の影響等を受けました。

この結果、当セグメントの売上高は、9,217百万円（前年同期比14.6%減）、セグメント利益は、384百万円（前年同期比50.9%増）となりました。

※3PL：サードパーティー・ロジスティクス

#### ② EMS事業（エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業）

EMS事業は、中国・ASEAN・北中米において生産活動を展開しており、前年度から続く戦略投資の実行期にあります。世界的な感染症拡大に伴う、各国政府方針によるロックダウンや外出禁止令、出入国制限等により、部材や物流などサプライチェーンの停滞に加え、海外全ての工場が一時的な稼働停止を余儀なくされ、また、自動車産業の落ち込みもあり、車載関連を中心に販売が低調に推移しました。利益面では、重点施策として進めているベトナムおよびメキシコ拠点の先行投資コスト等も圧迫要因となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、11,405百万円（前年同期比17.2%減）、セグメント損失は、33百万円（前年同期は68百万円の利益）となりました。

#### ③ PS事業（パワーサプライ事業）

PS事業は、中国の生産拠点が感染症拡大の影響により一時的に稼働停止せざるを得ない状況となったことや、サプライチェーンの混乱もあり、生産量が減少しました。加えて、顧客の生産調整や在庫調整実施の影響を受け販

売が減少しましたが、前期において行った抜本的コスト構造改革による体質強化の効果、およびさらなるコスト削減も実行し、利益の確保に努めました。

この結果、当セグメントの売上高は、5,426百万円（前年同期比17.0%減）、セグメント利益は、37百万円（前年同期比80.2%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産及び負債、純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、20,939百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,175百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2,757百万円、製品が571百万円減少した一方で、原材料及び貯蔵品が845百万円増加したことによるものです。

固定資産合計は、10,257百万円となり、前連結会計年度末に比べ31百万円減少いたしました。これは有形固定資産が160百万円増加した一方で、無形固定資産が179百万円、投資その他の資産が13百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は、31,256百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,213百万円減少いたしました。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、16,099百万円となり、前連結会計年度末に比べ190百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1,243百万円増加した一方で、支払手形及び買掛金が621百万円、未払金が180百万円、未払消費税等が536百万円、その他流動負債が66百万円減少したことによるものです。

固定負債合計は、10,314百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,015百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が404百万円、その他固定負債が599百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は、26,414百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,206百万円減少いたしました。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、4,842百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,007百万円減少いたしました。これは主に自己株式を133百万円取得したことによる純資産の減少、利益剰余金が585百万円、為替換算調整勘定が283百万円減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は15.5%（前連結会計年度末は17.4%）となりました。

### ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、4,477百万円（前年同四半期は4,044百万円）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、650百万円の収入（前年同四半期は556百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、減価償却費627百万円（前年同四半期は483百万円）、売上債権の減少額2,551百万円（前年同四半期は630百万円の増加額）等となり、主なマイナス要因は、税金等調整前四半期純損失441百万円（前年同四半期は204百万円の純利益）、たな卸資産の増加額444百万円（前年同四半期は141百万円の減少額）、仕入債務の減少額543百万円（前年同四半期は940百万円の減少額）、未払金の減少額196百万円（前年同四半期は261百万円の減少額）、未払消費税等の減少額481百万円（前年同四半期は233百万円の増加額）、その他の固定負債の減少額444百万円（前年同四半期は1,312百万円の増加額）等によるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、784百万円の支出（前年同四半期は1,838百万円の支出）となりました。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出773百万円（前年同四半期は952百万円の支出）等によるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、526百万円の収入（前年同四半期は1,169百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、短期借入金の純増額1,406百万円（前年同四半期は1,140百万円の純増額）となり、主なマイナス要因は、長期借入金の返済による支出446百万円（前年同四半期は406百万円の支出）、ファイナンス・リース債務の返済による支出184百万円（前年同四半期は78百万円の支出）、自己株式の取得による支出133百万円（前年同四半期 - ）等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年8月7日公表の通期業績予想数値から変更はありません。

なお、当該業績予想は現時点での情報をもとにしておりますので、今後、業績動向の変化を与える事象が生じた場合等には業績予想を変更する場合があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,177,174	4,501,172
受取手形及び売掛金	11,812,540	9,055,241
製品	1,472,875	901,836
仕掛品	514,158	526,295
原材料及び貯蔵品	4,037,383	4,883,132
その他	1,113,115	1,082,004
貸倒引当金	△11,982	△9,950
流動資産合計	23,115,265	20,939,731
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,166,687	1,166,687
その他(純額)	6,893,475	7,054,367
有形固定資産合計	8,060,162	8,221,054
無形固定資産		
その他	1,095,508	916,100
無形固定資産合計	1,095,508	916,100
投資その他の資産		
その他	1,139,242	1,126,181
貸倒引当金	△6,119	△6,119
投資その他の資産合計	1,133,122	1,120,061
固定資産合計	10,288,794	10,257,216
繰延資産		
社債発行費	66,106	59,495
繰延資産合計	66,106	59,495
資産合計	33,470,166	31,256,443
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,443,103	3,821,542
短期借入金	7,018,201	8,262,100
未払金	1,854,258	1,673,909
未払法人税等	172,312	131,873
未払消費税等	833,584	297,561
賞与引当金	472,090	482,295
その他	1,496,517	1,430,333
流動負債合計	16,290,069	16,099,616
固定負債		
社債	2,000,000	2,000,000
長期借入金	6,758,018	6,353,713
繰延税金負債	65,824	63,810
退職給付に係る負債	363,628	353,650
その他	2,142,947	1,543,469
固定負債合計	11,330,419	10,314,644
負債合計	27,620,488	26,414,260

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,690	500,690
資本剰余金	527,182	527,182
利益剰余金	6,307,834	5,722,029
自己株式	△909,859	△1,043,513
株主資本合計	6,425,848	5,706,388
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,076	△8,394
為替換算調整勘定	△580,843	△864,140
その他の包括利益累計額合計	△587,919	△872,534
新株予約権	3,056	—
非支配株主持分	8,692	8,329
純資産合計	5,849,677	4,842,182
負債純資産合計	33,470,166	31,256,443



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	31,108,438	26,049,332
売上原価	27,193,155	23,042,490
売上総利益	3,915,282	3,006,842
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	1,391,103	1,324,399
賞与引当金繰入額	121,643	85,853
その他	2,126,531	1,457,574
販売費及び一般管理費合計	3,639,278	2,867,826
営業利益	276,004	139,015
営業外収益		
受取利息	8,201	7,348
受取配当金	687	636
不動産賃貸料	20,658	20,206
助成金収入	127,500	-
その他	48,416	44,178
営業外収益合計	205,464	72,370
営業外費用		
支払利息	102,345	122,113
社債発行費償却	-	6,610
為替差損	143,230	112,423
不動産賃貸原価	13,642	9,939
外国源泉税	1,887	747
その他	17,204	27,854
営業外費用合計	278,310	279,688
経常利益又は経常損失(△)	203,157	△68,303
特別利益		
固定資産売却益	3,622	837
新株予約権戻入益	-	3,056
特別利益合計	3,622	3,893
特別損失		
固定資産除却損	1,809	9,369
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	367,925
特別損失合計	1,809	377,295
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	204,970	△441,704
法人税等	170,749	59,109
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,221	△500,814
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	65	△814
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	34,155	△499,999

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	34,221	△500,814
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,271	△1,317
為替換算調整勘定	△113,832	△283,725
その他の包括利益合計	△115,103	△285,043
四半期包括利益	△80,882	△785,857
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△80,752	△784,614
非支配株主に係る四半期包括利益	△129	△1,242

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	204,970	△441,704
減価償却費	483,261	627,580
貸倒引当金の増減額(△は減少)	149	△1,901
賞与引当金の増減額(△は減少)	138,028	12,969
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,901	△8,549
受取利息及び受取配当金	△8,889	△7,985
助成金収入	△127,500	-
支払利息	102,345	122,113
社債発行費償却	-	6,610
為替差損益(△は益)	△3,390	△11,502
固定資産除却損	-	9,369
固定資産売却損益(△は益)	△3,622	△837
新株予約権戻入益	-	△3,056
コロナウイルス感染症関連損失	-	367,925
売上債権の増減額(△は増加)	△630,400	2,551,627
未収入金の増減額(△は増加)	△84,992	76,169
たな卸資産の増減額(△は増加)	141,588	△444,527
仕入債務の増減額(△は減少)	△940,963	△543,569
未払金の増減額(△は減少)	△261,471	△196,944
未払費用の増減額(△は減少)	△102,291	△78,935
未払消費税等の増減額(△は減少)	233,644	△481,562
預り金の増減額(△は減少)	△69,196	9,630
長期未払金の増減額(△は減少)	386,924	△29,968
その他の固定負債の増減額(△は減少)	1,312,979	△444,539
その他	△51,158	165,224
小計	730,915	1,253,637
利息及び配当金の受取額	8,102	6,667
助成金の受取額	65,500	15,500
利息の支払額	△102,606	△125,983
法人税等の支払額	△153,965	△158,787
法人税等の還付額	8,659	-
雇用調整助成金等の受取額	-	200,933
コロナウイルス感染症関連損失の支払額	-	△541,788
営業活動によるキャッシュ・フロー	556,605	650,179

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△29,928	△22,597
定期預金の払戻による収入	23,699	18,978
有形固定資産の取得による支出	△952,048	△773,048
有形固定資産の売却による収入	3,622	777
無形固定資産の取得による支出	△39,572	△14,541
投資有価証券の売却による収入	-	4,288
敷金及び保証金の差入による支出	△17,261	△3,643
敷金及び保証金の回収による収入	13,500	15,669
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	△1,591	480
長期貸付けによる支出	-	△3,802
事業譲受による支出	△845,433	-
その他	6,912	△7,122
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,838,102	△784,561
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	1,140,265	1,406,330
長期借入れによる収入	626,888	-
長期借入金の返済による支出	△406,583	△446,278
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△78,992	△184,944
割賦債務の返済による支出	△26,611	△29,784
自己株式の取得による支出	-	△133,654
配当金の支払額	△85,270	△85,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,169,695	526,048
現金及び現金同等物に係る換算差額	△60,234	△71,044
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△172,035	320,622
現金及び現金同等物の期首残高	4,195,496	4,156,874
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	20,696	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,044,157	4,477,496

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年4月20日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式500,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が133,654千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が1,043,513千円となっております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結損益計算書計上額
売上高						
(1)外部顧客への売上高	10,791,542	13,780,952	6,535,943	31,108,438	—	31,108,438
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	23,516	696,830	172,417	892,764	△892,764	—
計	10,815,059	14,477,783	6,708,360	32,001,203	△892,764	31,108,438
セグメント利益	254,727	68,832	190,222	513,783	△237,778	276,004

(注) 1. セグメント利益の調整額△237,778千円には、セグメント間取引消去586千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△238,365千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

EMS事業において、Sony Electronics Inc.の事業部門「Sony Service and Operations of Americas」に関連する事業を譲り受けており、当該事業譲受によりTKR DE MEXICO S.A. de C.V.の株式を取得したため、同社を前第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めております。

なお、当該事象によるのれんの金額は、取得原価の配分が完了していなかったため、暫定的な会計処理によって算定された金額でありましたが、前連結会計年度末に取得原価の配分が完了し、暫定的な会計処理が確定したため、のれんの金額を352,519千円に修正しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	HS事業	EMS 事業	PS事業	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1)外部顧客への 売上高	9,217,359	11,405,535	5,426,438	26,049,332	—	26,049,332
(2)セグメント間 の内部売上高 又は振替高	17,535	893,653	183,531	1,094,719	△1,094,719	—
計	9,234,894	12,299,188	5,609,969	27,144,052	△1,094,719	26,049,332
セグメント利益 又は損失(△)	384,460	△33,092	37,627	388,994	△249,979	139,015

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△249,979千円には、セグメント間取引消去2,437千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△252,417千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。